



文化芸術に触れ豊かな感性を～オリエント美術館

問 幼い頃から文化芸術体験を通じて豊かな感性を養う機会を提供するため、オリエント美術館を児童への無料開放を試行

オリエント美術館

児童への無料開放を試行

ンサスを得ることが重要と考える。関係者の自主的な取り組みによりモデル実施されている加茂小学校では、予防効果が現れており、今後、保健所や歯科医師会等の指導を受けながら、関係者の理解と協力が得られる学校から順次実施できるよう努めていきたい。

術館を児童へ無料で開放しては。 答 平成14年11月1日からの教育週間期間中に、よりよい親子関係の醸成をねらいとして、保護者等と同伴の場合には、児童の入館料を無料とするファミリーチケット制を試行的に導入することとしており、これらの状況を見ただで今後の対応を関係部局と協議したい。

岡山後楽館中学・高校 今後の整備計画

問 平成11年4月に開校した岡山後楽館中高一貫校は、校内に体育館や運動場等の施設がなく、生徒にとつて不自由な状態が続いているが

今後の整備計画は、移転場所を決定する際の基準は。 答 場所に

ついては17年までの早い時期に方針を決定し、保護者、生徒、市民の意見等をもとに、22年を目途に施設整備ができるよう具体的整備計画を市教育委員会で

検討したい。同校の特色であるシテイキャンパス構想を生かせる場所も重要な観点と考えており、面積、立地環境等を含め多角的に検討したい。

中央適応指導教室（仮称）

問 旧清輝幼稚園に設置する予定の中央適応指導教室（仮称）について、教育相談室と適応指導教室の一体型施設とした理由は、今後の運営方法は。

答 不登校や授業放棄、喫煙など児童生徒の問題行動が複雑多様化しているが、専門的で手厚い相談や検査・判定を行い、相談と指導とを距離的に近い場所で行うことで、その機能を有機的に高め、問題行動の解決や減少につなげようとするものだ。中心地という地理的優位性を生かし、青少年育成センターや児童相談所等の関係機関との連携強化や、相談業務だけでなく、子育て問題への対応の拡充に向け、センター的機能の向上を図りたい。

米粉パン

学校給食への導入を検討

問 米の消費拡大を図るため本市の学校給食に米粉パンを導入しては、米粉パン等を消費者に普及・PRするためのフェ



米の消費拡大に向けて（大野小学校）

アを開催しては。 答 週二回の市内産米による米飯給食を、平成14年10月から隔週で週三回に増やし、さらに15年度早期に毎週三回に拡大する予定で、米の消費拡大にも意義あることと考えている。米粉パンについては、岡山県学校給食会で製造技術講習会を予定するなど調査研究を進めており、連携を図りながら導入を検討したい。14年11月に開催予定の農業祭やその他のイベントにおいて、岡山食糧事務所と連携して米粉パンの試食等について検討したい。

議案の修正

議員は、原則として議案について修正案を提出することができますが、これを修正の動議といえます。

修正の動議は、原案を十分に審議した結果、その一部または全部について修正する必要があると認めるものについて、原案が議題となる前までに、具体的な内容を盛り込んだ案を備え、文書により議長に提出することとされています。

議案には、議決により市の意思となる予算・条例案等の団体意思決定議案や議会の意思となる意見書・決議案等の機関意思決定議案があります。提出に当たっては、予算・条例案等の修正については、委員会が修正が決定された場合を除き、議員定数の十二分の一以上の者の発議を必要とし、意見書・決議案等の修正については、岡山市議会の会議規則により、四人以上の者の発議が必要と定めています。

